

## 令和7年度 第3回 備前市総合教育会議（議事録）

\*会議日時\* 令和8年1月22日 11時～11時44分

\*出席者\*

- 議長：長崎市長
- 小郷教育長
- 田中委員
- 立花委員
- 原田委員
- 鷺尾委員
- 司会：企画課長  
企画財政部長  
教育振興部長  
生涯学習部長  
教育委員会事務局（担当課長）  
企画課員

傍聴・撮影・録音について：傍聴は冒頭から可。写真撮影は冒頭のみ可。会議中の撮影・録音は不可。（司会説明）

★確認事項（議事録ではありませんが、前提となることを確認します。）

総合計画と教育大綱の位置づけについて、法的には独立していますが、実務上は教育大綱が総合計画の「教育部門」を補完し具体化する関係とするのが一般的です。

総合計画は首長が策定し議会が議決し、教育大綱は首長が総合教育会議で協議して決めることから、首長による共通方針が前提となります。

### 1. 議事内容

#### (1) 協議：「備前市教育に関する大綱の見直し（案）」

〔論点A〕「徳・知・体」等の並び／用語の見せ方（“育”を入れて違和感を減らす）  
「田中委員の「徳知体」の理念や補足説明文を子どもたちにもわかるように」について  
（教育長）

- ・ 一般的には「知・徳・体」と言われますが、心づくりをすることが人間性の根幹にあたることから、心の土台をつくる教育ができれば、学ぶ意欲にも繋がり、様々なところへ効果が波及していくことなどを考え、「徳育」というところにバランスを取りながらも大切にしていきたいということ。敢えて、徳を一番目に持ってきました。

（田中委員）

- ・ 教育長のご理念は大変分かります。ただ、「徳知体」といきなり出てきますと分かりづらいのではないかと思います。簡単な言葉で子どもにも分かるように説明するのがいいのではないかと思います。

（教育長）

- ・ 順番という意味で、「知徳体」が一般的なことと、子どもにも分かりやすいものということでは、徳とは何か、知とは、体とはと説明するのも必要で、なおかつ、備前市では徳を一番初めに持ってくる理由を示すことは大事です。表紙は簡潔にしたいので、2頁目の下段にでも注釈のような形で入れられるといいと思います。

（原田委員）

- ・ 「徳・知・体」～夢中が伸ばす無限の可能性～という基本理念の中で、「夢中が～」という文章から、徳を重視して一番に持ってきているのかなと連想しました。

(立花委員)

- ・ 「徳・知・体」の順番には賛成。
- ・ さらに「育」を付けて 徳育・知育・体育 と言えるようにすると、子どもにも理解の導入になり得る（体育は分かるので、「これって何？」と調べるきっかけにもなる）という提案。
- ・ 基本方針の中に、社会情勢や経済情勢など取り巻く環境に応じて変遷するものは加えるべきなので、AI のことを加えてほしいと思います。便利だが“礼儀・正義感・他者を思う心”などはAI にはないので、社会の転換期にあっても「徳」を忘れない、「徳」が最終的には大事ですよということ表現したいという提案。

(鷲尾委員)

- ・ 「徳育・知育・体育」という言い換えは納得できる。
- ・ 注釈をつけるという意見とともに、3 ページ目の基本方針に、得育・知育・体育が“どこにつながるか”を関連図で示すと、子どもにも大人にも視覚的に理解しやすい、という提案。

(教育長)

- ・ 「育」を入れることで、分かりやすいことと、“徳知体”の違和感が薄まるという整理が示され、方向性として「徳育・知育・体育」に賛同する。

(議長：長崎市長)

- ・ 結論のような感じがします。基本理念のところは「育」を入れる方針で進めます。

(議長：長崎市長)

- ・ 田中委員の「学校教育の充実」についての質問について、担当から説明願います。
- ・ コミュニティスクールを推進したいために説明文をいれてもらいたいというところ。

(教育政策課長)

- ・ 基本方針の内容につきましては、どういったことを掲載するかを各委員でご判断していただきたいと思います。【基本方針の「就学前の教育、保育の充実」は、総合計画の施策として位置づけられており、質の向上などの内容については以下の段落によって説明する形が考えられます。整合性や読み取り易さの面から、基本方針と施策は同じ方が良いと考えます】

(学校教育課長)

- ・ コミュニティスクールという言葉を入れる場合の注釈として説明を行う。

(田中委員)

- ・ 学校教育の充実のところでコミュニティスクールは推進する方向でいいのですね。

(教育委員会事務局)

- ・ はい。

---

〔論点 B〕 原田委員意見：就学前教育の表現について（修正を要望）

(教育政策課長)

- ・ 原田委員の意見（就学前教育の「（質の向上）等の修正」）は取組項目修正に当たるため、委員間で協議して表現を決めてほしい。

(原田委員)

- ・ “就学前の教育、保育の充実だけでは“何をどうするのか” 分からない。そのため「就学前の教育、保育の充実」に「質の向上」を加えたい。
- ・ 「徳知体」「夢中が伸ばす無限の可能性」等のキャッチフレーズを受けて、各取組（学校教育、就学前、スポーツ、歴史文化…）を関連付けていただきながら、「徳」が見える表記や表現によって「徳」に繋がっているところを見せてほしい。

(教育長)

- ・ 1 ページ目の理念→2 ページ目→基本方針…とつながりが見える形にできるとよいと考えています。

- 併せて、教育大綱は市長主導で作る性格であり、その枠組みの中で整理すべきと考え、その中で市長、教育長、教育委員が共通理念をもって教育大綱を作り上げるという形がいいと思います。

(議長：長崎市長)

- 私も一番大事なものは「徳」であると考えています。この方向で進めさせていただきます。

---

〔論点C〕教育大綱（案）文言の遂行、分かりやすい表現、理解しやすい図）

(教育長)

- 図（矢印で円になっているもの）の意味が分かりにくく、相互連携や発達段階等がより分かる表現にできないか。
- 表現として推敲した方がよいと思われるところもあり、事務局にお願いしたい。

(議長：長崎市長)

- 指摘を踏まえ、もう少し推敲して直したいと思います。また、各委員にも再考のお願いをします。

(企画財政部長)

- 教育長のご指摘、原田委員のご指摘から、「徳知体～夢中が伸ばす無限の可能性～」に、繋ぐ何かないかと考えました。最初の審議では、子どもがわかるものにしたいという意見が多かったのですが、皆さんから色々なご意見をいただき集約する度に、知らず知らずに言葉が難しくなっていくもので、気を付けていきたいと思います。
- また、繋ぐ言葉（フレーズ）として、「やさしい心、考える力、元気なからだ」などの言葉を使ったらどうかと考えました。そういった点を次回までに事務局の方でブラッシュアップさせていきたいと考えています。

(議長：長崎市長)

- こどもに対しての言葉として、部長の方からいい意見がでてきましたが、次回までもう少しもんでもらいたい。
- 教育長から言われたことなど、一緒に推敲していきたいと思います。

(教育長)

- 教育委員会としても、「教育大綱を策定するのは市長である」ということを踏まえて、もう一度推敲し、再提案させていただく考えです。

---

〔事務局〕今後の予定

- いただいた意見を踏まえて、教育委員会とも協議し、案をブラッシュアップしたものを、委員へ送付し確認いただこうと考えています。
- 2月以降にパブリックコメントを行い、市民意見を踏まえて最終調整し決定へ。
- 2月は議会等でタイトなため、最終確認は3月の予定で日程調整をさせていただきます。

以上